

最終報告

平成 23 年 8 月 3 日作成

第 8 期 インターン生
ニックネーム： けんぞう

1、本研修の目的

- 普段体験できないことをしてみたい
- 会津若松市で受け入れている避難者である大熊町の人々の少しでも力になりたい

漠然とした考え方を持って研修に参加

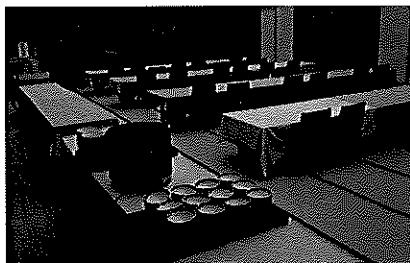
全体研修にて様々な人のお話を聞く中で目的が明確になる

- 自分の嫌なところ等を全て受け止め、自分自身を好きになる
- 仕事が出来る人⇒気がきく人

2、実施研修の内容

2-1、東山温泉観光協会（原瀧） 7/26~7/28

- 大熊町避難者人数確認
毎朝の日課として行われ、細かい作業で当初は、間違いないようにと緊張した
- 原瀧での炊き出し（カラオケ巡回バスの宣伝、避難者との会話）



お話を聞く上で問題点発生
・ポスターのみでは、わかりづらい
・カラオケ対象者を年代別に分けて
ほしい

● 大熊町会長とのお話

会長とお話する上で避難者の方々の不安や不満等を知ることが出来た。

- ・ 会津の気候（冬の雪）
- ・ 1人暮らしの人々→大熊町会長、役場の方々が月2回を目標に巡回

● 夏祭りの準備

ポスター、バッジ配り 封筒のシール張り 5円玉でお守り作り
地道な作業でしたが大変でした。

気づき

実際に炊き出しの際に、避難者の方々とお話をみて
すごい前向きなのを感じ、立場は違えども同じ避難者とし
て共感できる部分がありました

各旅館に配布したバッジ⇒



最終報告

平成 23 年 8 月 3 日作成

第 8 期 インターン生
ニックネーム：けんぞう

2-2、仮設住宅訪問（カラオケ巡回バスの宣伝）

内容：仮設住宅の状況調査、ポスターを用いて宣伝、予約確認 7/29 8/2

扇町 5 号公園

- 仮設住宅の数が多いため、自治会は立ち上げない
- A・B・C グループ代表者がグループ毎に取りまとめを行う



役場とも連携がとりづらいのでカラオケ巡回バスは難しい

東部公園

- 自治会長はいないが、取りまとめを行っている方がいる。
- お盆明けをめどに自治会長が決まる
- ポスターを掲示



自治会長が決定後、集会所で集会を開き宣伝を行うことが可能

河東学園

- 自治会長が決定
- 一週間掲示板にポスターを掲示
- 8月いっぱいまで子供たちの遊び場として集会所を提供



9月に集会を開いて改めて宣伝



松長近隣公園

- 自治会長が決定
- 役場の許可を得て、ポスターを掲示
- 近隣の住宅で宣伝をして頂く



自治会長が決定したので集会所で集会を行う事が可能

最終報告

平成 23 年 8 月 3 日作成

第 8 期 インターン生
ニックネーム：けんぞう

城前国有地

- 自治会長が決定
- ポスターを掲示



予約を取ることが出来、8月28日に実施決定

- 明確な人数は後日
- カラオケ巡回バスを行うと同時に集会所を開き、お茶会も実施
- 仮設住宅のご近所の方も参加

●問題点

仮設住宅に住む避難者から、

ポスターのみでは伝わりにくい部分があるという意見があった



どのようにすれば伝わりやすいか？

●解決策

ポスター作成

当初のポスターの補足として

新たに分かりやすくするためポスターの作成を行いました

気づき

7月29日に扇町5号公園、東部公園、松長近隣公園、8月2日に河東学園、城前国有地の仮設住宅を巡回してきました。避難者の意見としては、会津の気候が心配だと言っていました。特に松永近隣公園は、スーパーも遠く買い物をするのにも一苦労で避難者はとても大変だと言っていました。実際に会津若松駅から歩いていきましたが山の奥にありかなり大変です。

最終報告

平成 23 年 8 月 3 日作成

第 8 期 インターン生
ニックネーム： けんぞう

2-3、物産販売（新潟県新潟市古町）

先日の福島・新潟集中豪雨の影響もあり、商店街の人通りは少なかった
売上もあまり良くなかったが、近くにいた署名活動を行っていた方たち
が協力してくれてすごい感動しました

気づき

広告を配布する場合は、3つ折りにして配布すると受け取りやすい

2-4、滝のや復興作業 8/1

先日の豪雨で被害を受けた旅館で復興作業を行ってきました

- 厨房の洗浄
- 厨房の汚れた食器の運搬
- 汚れた食器の洗浄



気づき

被害にあった人々のお手伝いをすることで改めて
人のつながりの重要性を認識することが出来た

滝のやの復興作業場所

2-5、ニイダヤさん復興応援 8/12

8月 12 日に江名のサザンパシフィックホテルに行ってきました

- ニイダヤさんの復興応援プロジェクトとしてお話しを聞いてきました



(自分の身近な場所で震災に負けずに頑張っている人がいる事を実感した)

※ニイダヤさんでまた干物が作られる日を楽しみにしています

気づき

江名に行ったのはボランティア以来だったのですが
以前よりがれきも少なくなり徐々に復興に向かって
いる事を実感出来た

最終報告

平成 23 年 8 月 3 日作成
第 8 期 インターン生
ニックネーム： けんぞう

2-6、Tシャツ・のぼりデザイン企画

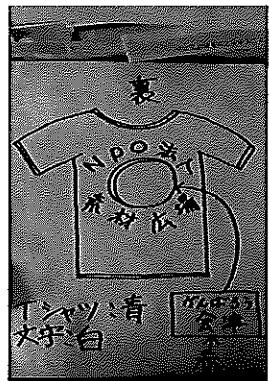
8/14~8/17

素地広場で物販の際に使用する Tシャツとのぼりのデザイン企画

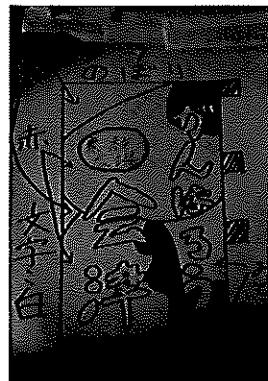
Tシャツ表



Tシャツ裏



のぼり



2-7、会津暦 8/21

会津暦復活のためエクセルを使用して手帳作りを行いました。

目的：会津暦をより多くの人々に知ってもらうため

課題：どのようにすれば多くの人々に興味をもって貰えるか？



結果：まずは、手帳に会津暦を取り入れ多くの人々に知って貰う

3、目的達成度

今回の目的：自分の嫌なところ等を全て受け止め、自分自身を好きになる



自分自身を好きになり、自分の嫌な部分が明確にわかる



- 自分から進んで行動することが出来た
- 自分の仕事に責任を持って取り組めた
- 嫌なことから逃げずに頑張れた

いわきでボランティアを行っていた際、自分から進んで行動することが出来なかった。今回の研修では、自分で考えて行動しなければならなかつたのでその点で大きく成長出来た。

最終報告

平成 23 年 8 月 3 日作成

第 8 期 インターン生
ニックネーム： けんぞう

結果

予約が取れ、カラオケ実施という結果がついてきた

仕事が出来る人 ⇒ 気がきく人



気がきくという点ではまだまだ達成できていない

4、印象深かった事

避難者の声

- 会津の気候が心配（降雪）
※特に松長近隣公園
- 人数が多いとコミュニケーションが取りづらい



同じ避難者という立場で話
し合うことで共感がもてた

5、本研修における反省点

自ら進んで行動が出来た上でミスも数少なかった

実施研修に入ってから 「ほう・れん・そう」 を忘れるがち



よって…

- 連携がとれていなかった
- 効率よく仕事が進まなかった

気づき

今回、このミスに気づけた事は、自分自身にとってすごいプラスとなった。

今回の研修をこれからの自分にどう生かすかは自分次第なので頑張っていきたい

6、まとめ

最終報告

平成 23 年 8 月 3 日作成

第 8 期 インターン生
ニックネーム： けんぞう

今回の研修の中で仮設住宅の避難者と会話をした際に感動した言葉

「いつまでも下を向いていてはいけない。

前向いて歩いていかないといけない。」

避難者の方々は、これからが本当に大変な時期になってくると思います。冬の雪が心配だという方」も数少なくありません。そんな中このような言葉を聞くこと出来たのは、立場は違えども同じ被災者としてとても勇気づけられました。

また、カラオケ巡回バスの予約が取れたことは、すごく嬉しい。

結果として形で残せたことは自身となると思います。しかし、そのお手伝いが出来ないことが一番の心残りです。

今回の研修で学んだことは、大きかったです。仮設住宅を巡回することで人のつながりの大切さを改めて認識できました。ミスしたことも含めて自分にとつてプラスになったことが数多くあったので今後につなげていきたいと思います。